

ミライト・モバイル・イースト Q&A

Q1. 具体的な仕事内容について

「入社後、最初に担当する仕事は何ですか?」「1日の仕事の流れを教えてください」

A1. 入社後はすぐに担当別に配属される訳ではなく、社会人としてのビジネス知識やビジネスマナーを習得する期間を設けます

また、働く上での必要な資格取得の勉強や各専門部署でミライト・モバイル・イーストの仕事を学んでもらいます
正式な配属が決まるのは、入社6か月後の10月です

朝礼で会社や作業に必要な連絡事項を共有してから、定められた作業工程で勤務してもらいます

場合によれば、作業報告書等の作成がありますが、先輩や同僚社員が互いにフォローしながらすすめます

Q 2. 職場の雰囲気や人間関係について

「職場の雰囲気はどのような感じですか?」「年齢の近い先輩はいますか?」「上司や先輩に質問しやすい環境ですか?」

A2. 職場や仕事の内容によって雰囲気は違いますが、入社当初は出来るだけ年齢の近い相談しやすい先輩社員がいる仕事に就いてもらいます

少なくとも通勤や会社に慣れるまでは人間関係には出来る限り配慮して頑張ってもらえる環境に身を置いてもらいます

Q 3. 給与や昇給について

「昇給はどのように決まりますか?」「高卒で入社した先輩の給与モデルを教えてください」

A3. 給与がアップするのはいくつかのケースがあり、代表的なものは以下になります

1. ベースアップ・・・これはほぼ一律に全社員に固定給があがるものです

2. 定期昇給 ...年に一度、年間の人事評価によってあがる制度で役割グレード別に上位評価と下位評価によって計算率が異なりますが、若手社員は1年毎に年齢給があがる制度になっています

3. グレード昇格 ...新卒入社の方は、4年でグレード(等級ランク)が上がる制度です。また、チャレンジもくっ表に対する達成度を評価する制度です

Q 4. 残業や休日出勤について

「月の平均残業時間はどれくらいですか?」「残業代はきちんと支払われますか?」「休日出勤はありますか?」

A4. 会社全体での平均残業時間は1か月あたり17時間程度、1日当たり1時間弱です

ただし、部署や職種、時期によって異なります

残業は、プライベートの時間を割いて労働してもらうため、当然残業代が支払われます

また、どんな業務でも納期や期限があり、例えば取引先との契約期限に間に合わせるために休日出勤して期限に間に合わせることはあり得ますが、その際は代わりに別に休日をとって健康管理に努めてもらっています

2026/06/01

Q 5. 入社後の研修や教育制度について

「入社後の研修はどのような内容ですか?」「仕事に必要な資格の取得支援はありますか?」

A5. 入社して6カ月間は研修期間と位置づけています

入社1か月目の4月は学生から社会人への切り替え期間としてビジネス知識やビジネススキル、マナーの習得期間

ゴールデンウィーク明けの5月、6月は現場・職場体験のいわゆるOJT中心の期間、7月から9月の3か月は仮配属として業務の適性等を図る期間としていますので、無理なくスムーズに社会人に切り替えができると考えております

Q 6. 休日や休暇について

休日や休暇制度について、教えてください。

A6. 弊社では休日と休暇は他社に比べて充実しています

土曜日、日曜日、祝日、年末年始の12/29~1/4は休日、年次有給休暇は4月入社時に8日もらえ、10月には更に20日もらえます

上記の休日・休暇に加えて夏期休暇が3日間で計画的な休暇の取得は、会社も推奨しています

また、ゴールデンウィーク前後や年末年始の前後にも年次有給休暇を利用して他の会社にくらべて長めにお休みできる制度も推奨しています

Q 7. キャリアアップについて

「高卒で入社した場合、どのようなキャリアステップが考えられますか?」「役職に就くことは可能ですか?」

A7. 高卒、大卒関係なくある程度年数で習熟度が上がれば、等級グレードがあがる制度があります

また、業務に必要な無線や電気系の資格を取得し、先輩や上司に頼ることなく業務計画を組めるようになれば次のステージである役職も上がる制度になっています

Q 8. 会社の強みや今後の展望について

「他社と比べた際の、御社の強みは何ですか?」「今後、会社として力を入れていきたいことは何ですか?」

A8. 今後の通信分野は電気や建築と比較しても、技術的に数年ごとに伸びていく非常に重要な成長分野であり、当社の仕事は主に5G構築のための基地局建設にあります

大容量、低遅延、そして多様なIoTへの接続を目指して最先端分野で活動しており、この最先端分野である通信技術に深く関与しています

ミライト・ワングループの強みとしては、様々な技術や資格を修得ための市川研修センターでのハード的な実地訓練など、教育体制も充実しています

また、今後の展望、注力分野としては「モバイル技術を軸とした事業領域の拡大」、近年需要が増加している「データセンターの建設への注力」、

太陽光や需要拡大を見込めるEV充電等の「エネルギー関連分野への進出」を計画し、ものづくり全般を経験したプロフェッショナル人材の育成を目指しております